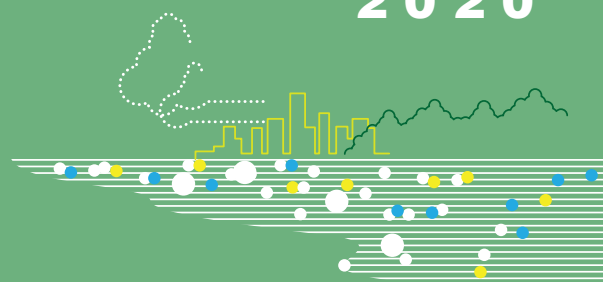


キッツグループ 環境・安全衛生報告ダイジェスト 2020



キッツグループは、ESGの視点を経営に反映させることにより、中長期的かつ持続的な成長を実現するとともに、地球環境及び社会が抱える様々な課題の解決に取り組んでまいります。

ESGを軸にした取り組みとSDGs

2019年度を初年度とする第4期中期経営計画では、ESGのさらなる強化を重点テーマの一つに掲げています。2020年3月、キッツの重要な取り組み項目と関連性の強いSDGsの目標を見える化しました。これまでの取り組みを一層強化するとともに、サステナビリティ経営をさらに加速させ、持続可能な未来に向けてSDGsの達成に寄与してまいります。

大項目	中項目	具体的な実施項目	SDGs
Environment 事業活動を通じて地球環境保全に貢献する	1. 環境に配慮した商品・サービスの開発と提供	① 鉛レス材・カドミレス材等の環境に優しい材料の開発 ② 除菌・浄化処理装置の開発 ③ RoHS 指令・REACH 規制対応商品の提供 ④ クリーンエネルギー分野への対応商品の開発	
	2. 産業廃棄物の削減と再利用・再利用の推進	① 地球温暖化ガス・CO ₂ 排出量の低減活動の推進 ② 環境負荷物質排出の抑制	
	3. グループ・グローバルでの環境汚染防止と予防	① 有害物質を含有する化成品の特定と代替化の推進 ② 海外拠点別環境法規制の見える化と対策	
Social 人財・安全・地域社会を大切にす	1. 多様な人財（ダイバーシティ＆インクルージョン）の活躍推進	① 働きやすい人事制度の導入と定着 ② 同一労働同一賃金に向けての取り組み ③ 女性社員の活躍推進 ④ シニア人財の活躍推進 ⑤ グローバル人財の登用と育成 ⑥ ワーク・ライフ・バランスを支える制度の充実	
	2. 安全・健康・人権を大切にす社風の醸成	① 安全で健康に働くことができる職場環境の整備 ② 国、宗教、民族等に対する偏見・差別・人権侵害・不正を行わないとするポリシーの徹底	
	3. 適正な事業活動	① 公正な取引によるサプライチェーンマネジメントの推進 ② 品質と安全性確保による顧客満足度の追求	
	4. 社会貢献活動	① 社会貢献活動の推進	
Governance 公明正大な経営	1. 健全なコーポレート・ガバナンス体制の確立	① 指名委員会と報酬委員会の有効な運用 ② 女性役員の登用 ③ J-SOX 法に加え会社法上の内部統制（内部監査）の強化	
	2. 経営における透明性の向上と経営監視体制の強化	① 三様監査会合（監査役会・会計監査人・内部監査室）に社外取締役を加えた四様監査・監督会合の実施による情報の共有化 ② 社外役員によるグループ会社の監査と監督 ③ 内部監査室の強化	
	3. 取締役会の実効性の強化	① 幅広い見識・経験を有する社外役員の起用によるガバナンスの強化と取締役会の活性化 ② 取締役会の実効性評価の実施と課題への対応	

キッツグループ環境理念

キッツグループは、環境に配慮した商品・サービスの提供と事業活動の推進により、社会から信頼される企業を目指します。

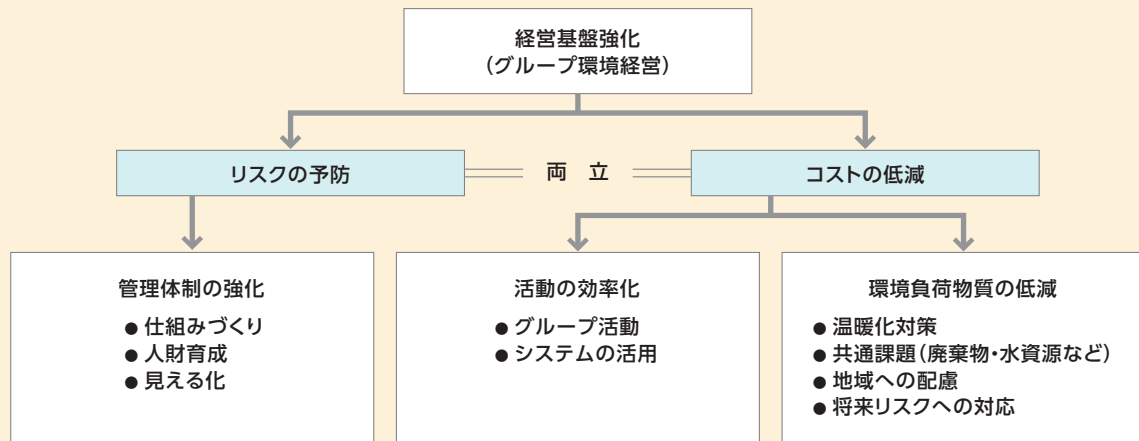
キッツグループ環境行動方針

環境を経営の重要な視点として意識し、一人ひとりの社員が次の施策に積極的に取り組みます。

1. 環境に配慮した商品・サービスの開発と提供
2. 資源の有効活用
3. 廃棄物の削減と再使用・再利用の推進
4. 環境汚染の防止・予防

環境経営の考え方と取り組み

上記の目標達成に向けて、『リスクの予防』と『コストの低減』の両立をベースに活動してまいります。「両立」とは、積極的に環境活動に取り組むことにより土壌汚染などを未然に防ぎ、将来発生しうる費用を抑えること、また、事業活動で排出される廃棄物などを徹底的に削減した結果、コストの低減となり広く社会に還元できるという考え方に基づくものです。



キッツグループ安全衛生基本理念

キッツは人間尊重を基本とし、安全衛生が全ての活動に最優先することを認識し、積極的に安全衛生活動に取り組み、災害ゼロを目指します。

キッツグループ安全衛生基本方針

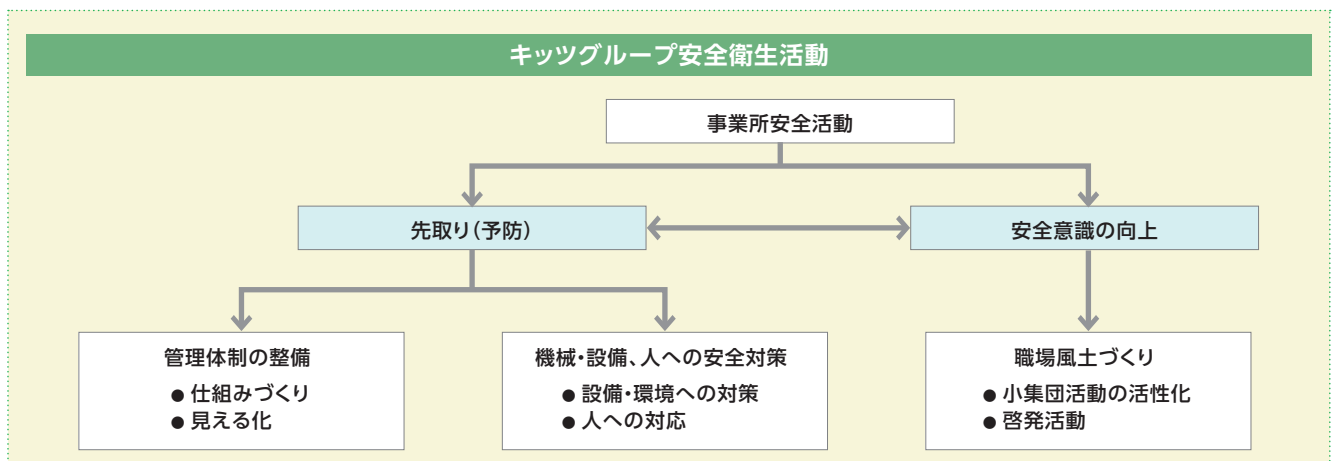
1. いきいきとした快適な職場づくりに努め、心とからだの健康づくりを推進する。
2. 労働安全衛生法令及び関係法令を順守するとともに、社内規程・基準に基づき全ての従業員の安全衛生を確保する。
3. 安全衛生活動に必要な知識・技能を、全ての従業員に教育・訓練して安全衛生管理レベルの向上を図る。
4. 従業員が安心して働けるよう、設備の本質安全化を図る。
5. 職場における危険性・有害性を取り除き、リスクの低減を図る。

先取り（予防）と安全意識の向上を図り、グループを挙げて安全衛生活動を推進します

「組織的な活動の充実とライン化の徹底」と「職場自主活動の活性化（小集団活動によるボトムアップ）」との両方向から展開を図り、一人ひとりのマインドを変え、安全意識を向上させ、職場風土を変革していきます。

従業員の安全と健康の施策として、「安全の先取り（予防）」と「安全意識の向上」を図るため、以下の重点取組事項を設定しています。

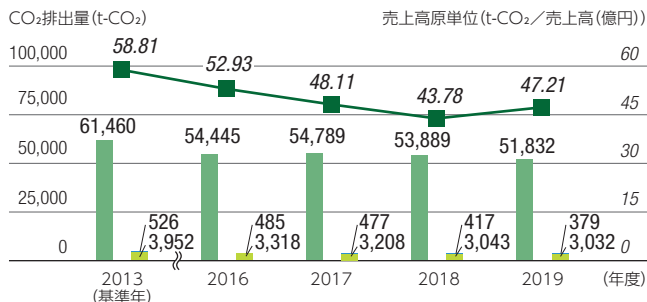
- 管理体制の整備（安全衛生関係法令の順守）
- 機械・設備、人への安全対策（類似災害防止）
- 職場風土づくり（ゼロ災運動の推進）



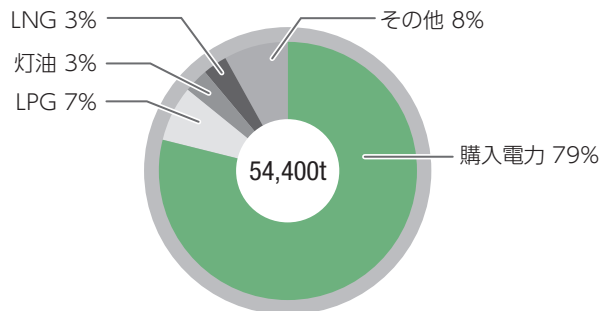
主な環境・安全衛生データ

■ キッツ及び製造グループ会社（営業所は除く） ■ サービスグループ会社
 ■ キッツ及び製造グループ会社（営業所）
 ■ 売上高原単位はキッツ及び国内グループ会社（営業所は除く）

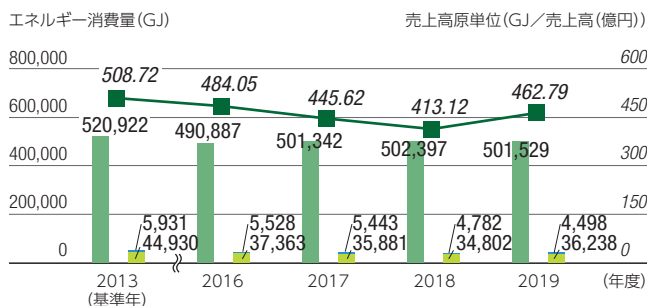
CO₂ 排出量の推移



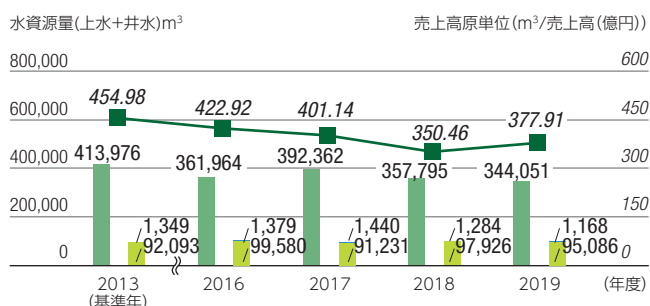
エネルギー別 CO₂ 排出量割合



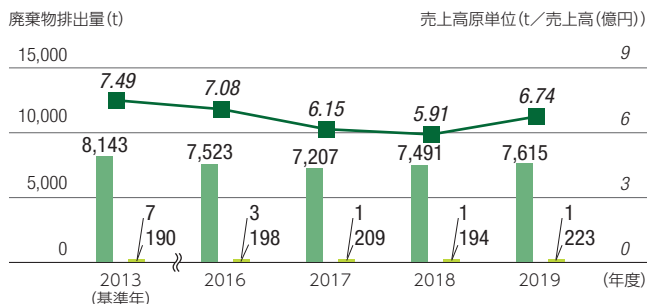
エネルギー消費量の推移



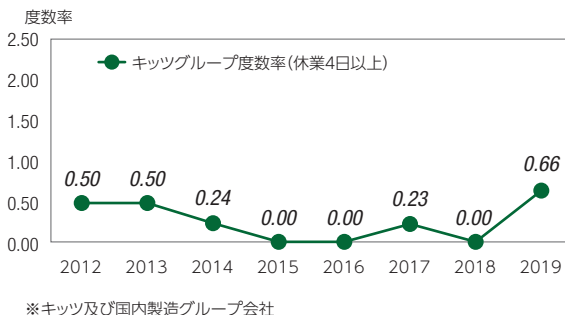
水資源量



廃棄物排出量の推移



度数率の推移



環境負荷の全体像

INPUT		キッツグループ (キッツ+製造)	キッツグループ (営業所)	キッツグループ (サービス会社)	主な原材料		キッツグループ (キッツ+製造)
主なエネルギー							
● 電気					● 鉛	(t)	2,659
● 購入電力 (千 kWh)		91,538	383	3,873	● ニッケル	(t)	547
● 太陽光発電 (千 kWh)		46			● マンガン	(t)	61
● 都市ガス (千 m ³)		1,097		257	● クロム	(t)	532
● LNG (t)		511			● 銅	(t)	45,920
● A 重油 (kl)		306		53	● 亜鉛	(t)	19,477
● LPG (t)		1,050	16	155	主な副資材		
● 灯油 (kl)		687	14	19	● 中子砂	(t)	
● 冷・温水 (GJ)		3,791			● 鋳物砂 など	(t)	4,558
水					● 塗料、シンナー	(t)	146
● 上水 (千 m ³)		148	1	95	● 油剤	(t)	161
● 地下揚水 (千 m ³)		197					

KITZ GROUP	開発設計	調達	生産	物流	販売
------------	------	----	----	----	----

OUTPUT		キッツグループ (キッツ+製造)	キッツグループ (営業所)	キッツグループ (サービス会社)	廃棄物等排出量		キッツグループ (キッツ+製造)	キッツグループ (営業所)	キッツグループ (サービス会社)
大気への排出					● 産業廃棄物 (t)		7,427		104
● CO ₂ (t)		51,832	379	3,032	● 一般廃棄物 (t)		187	1	119
● ばいじん (t)		1.6			● 有価物 (t)		5,604		37
● NO _x (t)		3.2		4.0	● 最終処分量 (t)		308		37
● SO _x (t)		4.0			化学物質排出量 (PRTR 対象物質)				
					● 大気 (t)		59		
					● 廃棄物 (t)		223		
					● 公共水域 (t)		0.0		

環境会計

■ 環境保全コスト

(単位：千円)

分類	主な取り組みの内容	設備投資額	費用額
事業エリア内コスト		158,235	653,530
内訳	公害防止コスト	公害防止施設・設備の導入・維持管理	65,520 231,860
	地球環境保全コスト	省エネ型設備・機器の導入	92,334 223,876
	資源循環コスト	廃棄物減量化・リサイクル、外部委託処理費	380 197,794
グリーン購入製品リサイクルコスト	使用済み商品の回収・リサイクル費用	0	13,335
管理活動コスト	ISO・環境測定・環境情報の開示	2,818	81,735
研究開発コスト	鉛フリーなど環境配慮商品の開発	0	70,808
社会活動コスト	緑化活動の推進	0	563
環境損傷コスト	地下水の浄化対策	0	600
その他のコスト		0	0
合計		161,053	820,571

項目	内容等	金額
当該期間の設備投資額の総額	環境保全に係る投資額の割合：1.2%	13,617,042
当該期間の研究開発費の総額	環境保全に係る開発費の割合：2.7%	2,611,849

集計範囲はキッツ（本社、長坂工場、伊那工場、茅野工場）、キッツメタルワークス、キッツマイクロフィルター、キッツエスシーティ、清水合金製作所、キッツエンジニアリングサービス、ホテル紅や

■ 環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標 (単位)	前期 (2018年度)	当期 (2019年度)	前期との差 (環境保全効果)
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量 (GJ)	537,199	531,715	-5,484
	PRTR 対象物質の投入量 (t)	6,195	2,428	-3,767
	上水投入量 (m ³)	253,822	243,056	-10,766
	地下揚水投入量 (m ³)	201,899	196,900	-5,000
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	56,931	54,109	-2,822
	特定の化学物質排出量・移動量 (t)	256	282	26
	一般廃棄物及び産業廃棄物総排出量 (t)	7,685	7,761	76

■ 環境保全対策に伴う経済効果 (実質的効果)

(単位：千円)

効果の内容		金額
収益	主たる事業活動で生じた廃棄物のリサイクルまたは使用済み商品等のリサイクルによる事業収入	354,479
費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の節減	-757,711
	リサイクルに伴う費用節減	127,071
	廃棄物減量に伴う費用節減	-15,477
合計		-291,638

海外における環境マネジメントの強化

キッツグループは、長期経営計画「KITZ Global Vision 2020」を策定し、環境経営の推進を経営基盤強化の主要項目として位置付けています。環境中期計画では、国内外全ての製造拠点でISO14001認証を取得することを目標に設定しており、グローバルな環境マネジメントの確立に取り組んでいきます。



■ ISO14001 統合認証取得事業所

事業所名	
(株) キッツ長坂工場	(株) キッツマイクロフィルター (本社工場、茅野工場)
(株) キッツ伊那工場	(株) キッツエスシーティー
(株) キッツ茅野工場	(株) 清水合金製作所
(株) キッツメタルワークス	東洋バルブ (株) 甲信営業所

■ ISO14001 認証取得状況 (海外)

事業所名	認証年月
①台湾北澤股份有限公司	2000年 11月
②KITZ (Thailand) Ltd. Bangplee 工場	2010年 12月
③北澤精密機械 (昆山) 有限公司	2010年 12月
④北澤閥門 (昆山) 有限公司	2011年 4月
⑤KITZ (Thailand) Ltd. Amatanakorn 工場	2012年 2月
⑥KITZ Corporation of Europe, S.A.	2012年 5月
⑦Cephas Pipelines Corp.	2003年 5月
⑧Filcore Co., Ltd.	2014年 8月
⑨Metalúrgica Golden Art's Ltda.	2019年 12月

算定基準 (2019年度実績)

環境パフォーマンス指標	単位	算定方法
INPUT	総エネルギー投入量	GJ 事業活動で消費されるエネルギー量 (GJ) $\Sigma [\text{各エネルギー年間使用量} \times \text{各単位発熱量}] \times 10^3$ * 出典: 平成30年度 (2018年度) エネルギー需給実績 (確報) (令和2年4月14日公表) 資源エネルギー庁 電気: 3.6MJ/kWh A重油: 38.9MJ/ℓ 灯油: 36.5MJ/ℓ 軽油: 38.0MJ/ℓ LPG: 50.1MJ/kg 都市ガス: 40.0MJ/m ³ ガソリン: 33.4MJ/ℓ LNG: 54.7MJ/kg キッツ本社ビル (千葉県: 幕張新都心) において、空調利用のために地域冷暖房システムから熱源である冷温水を受け入れている量
	原材料投入量	トン 製品を製造するために直接使用する原材料の年間使用量 (t)
	水の使用量	m ³ 上水及び地下水の年間使用量 (m ³)
	二酸化炭素排出量	トン 事業活動で消費されたエネルギーにより排出された二酸化炭素 (t) * 地球温暖化対策推進法施行令より 算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧 電力 (kg-CO ₂ /kWh) 東京電力: 0.468 関西電力: 0.352 中部電力: 0.457 北海道電力: 0.643 東北電力: 0.522 北陸電力: 0.542 中国電力: 0.618 九州電力: 0.319 A重油: 2.70kg-CO ₂ /ℓ 灯油: 2.48kg-CO ₂ /ℓ 軽油: 2.61kg-CO ₂ /ℓ LPG: 2.96kg-CO ₂ /kg 都市ガス: 1.99kg-CO ₂ /m ³ 東京ガス: 2.19kg-CO ₂ /m ³ 大阪ガス・北ガス: 2.29kg-CO ₂ /m ³ 冷・温水: 0.057kg-CO ₂ /MJ ガソリン: 2.24kg-CO ₂ /ℓ LNG: 2.70kg-CO ₂ /kg ばいじん量 (t) = ばいじん濃度 (g/m ³) × 単位時間当たりの乾き排ガス量 (m ³ /h) × 年間稼働時間 (h/年) × 10 ⁻⁶ SO _x (t) = 硫酸化合物濃度 (ppm) × 単位時間当たりの乾き排ガス量 (m ³ /h) × 年間稼働時間 (h/年) × 64/22.4 × 10 ⁻⁹ NO _x (t) = 窒素化合物濃度 (ppm) × 単位時間当たりの乾き排ガス量 (m ³ /h) × 年間稼働時間 (h/年) × 46/22.4 × 10 ⁻⁹
廃棄物等排出量	トン 廃棄物最終処分量: 委託した廃棄物量 (トン) × 最終処分率* (%) ※一般廃棄物9.4% (環境省「一般廃棄物の排出及び処理状況等 (平成30年度実績) について」より引用。産業廃棄物・中間処理業者から回答の得られた値。)	

対象期間: 対象期間は2019年度 (2019年4月1日～2020年3月31日) の実績です。
対象範囲: キッツ及び国内グループ会社6社 (詳細はWEBサイトをご覧ください)
環境パフォーマンス情報の収集・報告の方針及び基準: 環境関連法規に準拠し、「キッツグループ環境理念」「キッツグループ環境行動指針」「キッツグループ環境・安全衛生パフォーマンスデータ算定ガイドライン」他環境関連社内規定に基づき記載しています。

参考にしたガイドライン:

- 環境省「環境報告ガイドライン (2012年版)」
- 環境省「環境会計ガイドブック (2005年版)」
- 発行: 2020年10月
- 次回発行予定: 2021年7月 (毎年発行していく予定です)